



セキュリティ性能を高めたクラウド型レジストリで 質の高い患者情報を効率的に収集・活用できます

秘匿情報管理サービス「匿名バンク」*の利用で個人情報情報を安全に管理・活用

個人情報情報を秘匿化して管理します。個人ごとに付与された鍵を持つ利用者だけが個人情報にアクセスできるため、匿名化された情報は安全に活用できます。暗号化によりインターネット通信時の安全性も確保されています。

* 日本特許第5412414号、日本特許第6250497号取得済 米国特許第9275250号取得済

患者の長期フォローアップが可能

個人情報情報の管理が可能のため、患者の長期フォローアップに適しています。患者情報をリアルタイムに収集・共有でき、電子メールなどを利用した定期フォローアップも可能です。登録項目はマスターで設定でき、CSV、ER/ES指針にも対応しています。

CSV : Computerized System Validation ER/ES : Electronic Record/Electronic Signature

クラウドサービス(SaaS)として提供

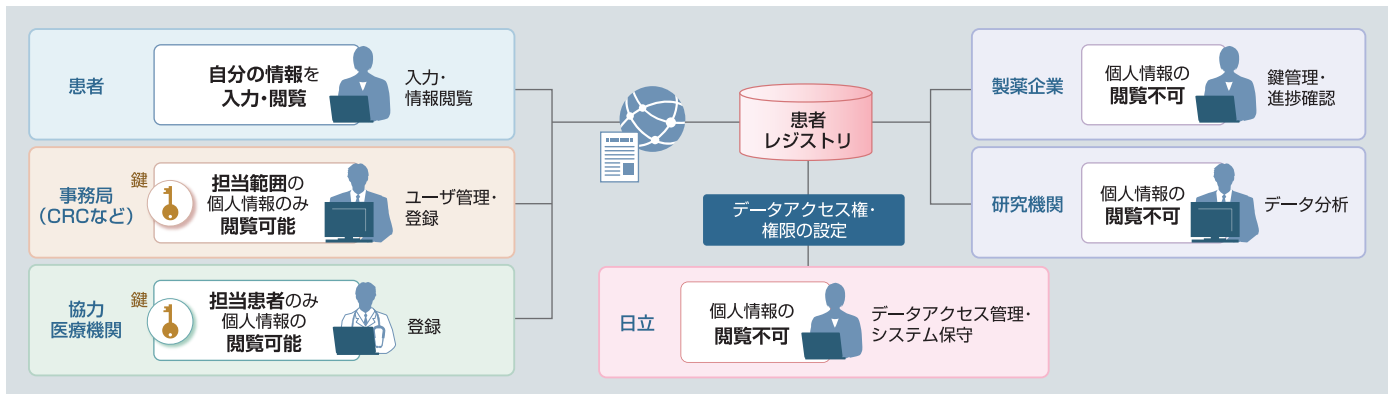
クラウドを利用することで、機器などの準備や安全管理措置に関する負担が軽減できるだけでなく、コストを抑えながら、患者レジストリ運営に必要な基本機能をすぐにご利用いただけます。必要に応じて、カスタマイズも可能です。

■ 患者レジストリサービス概要図

患者・事務局(CRCなど)・協力医療機関の医師などからクラウドを通じて情報を登録・蓄積します。

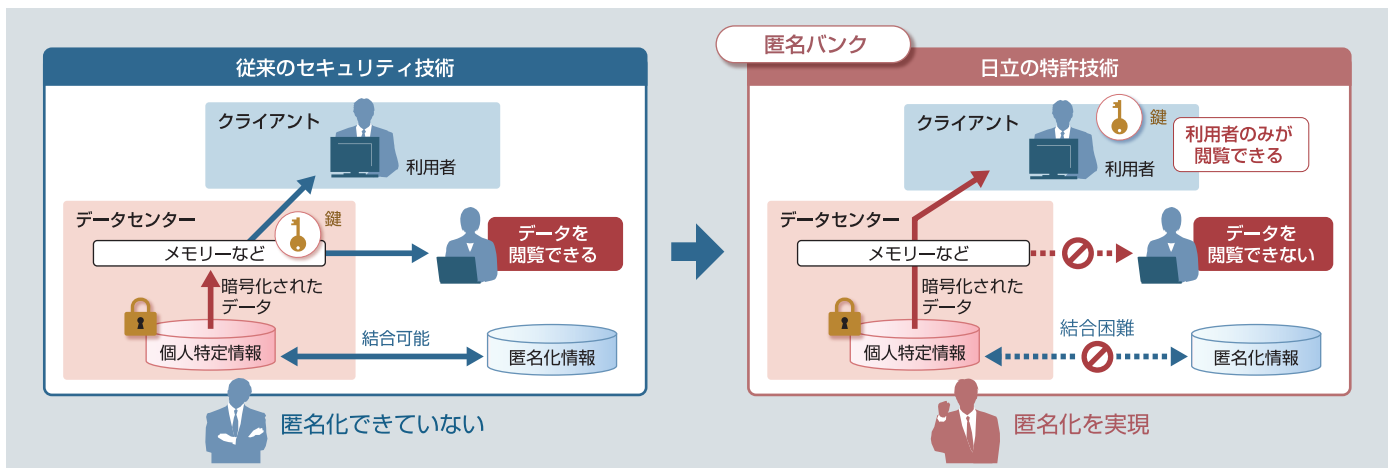
それぞれの権限に基づいた情報と機能が利用でき、蓄積された情報は製薬企業や研究機関などが活用できます。

CRC : Clinical Research Coordinator



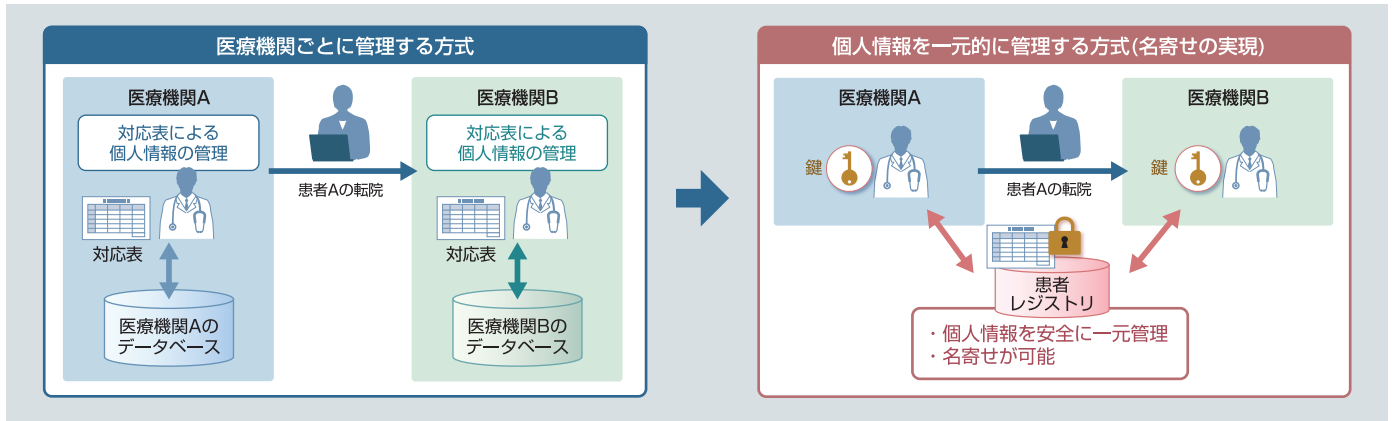
日立の独自技術で個人情報情報を安全に管理・活用

日立の特許技術である秘匿化および匿名化により、氏名、生年月日などの「個人特定情報」と検査結果などの「匿名化情報」を分離してお預かりします。



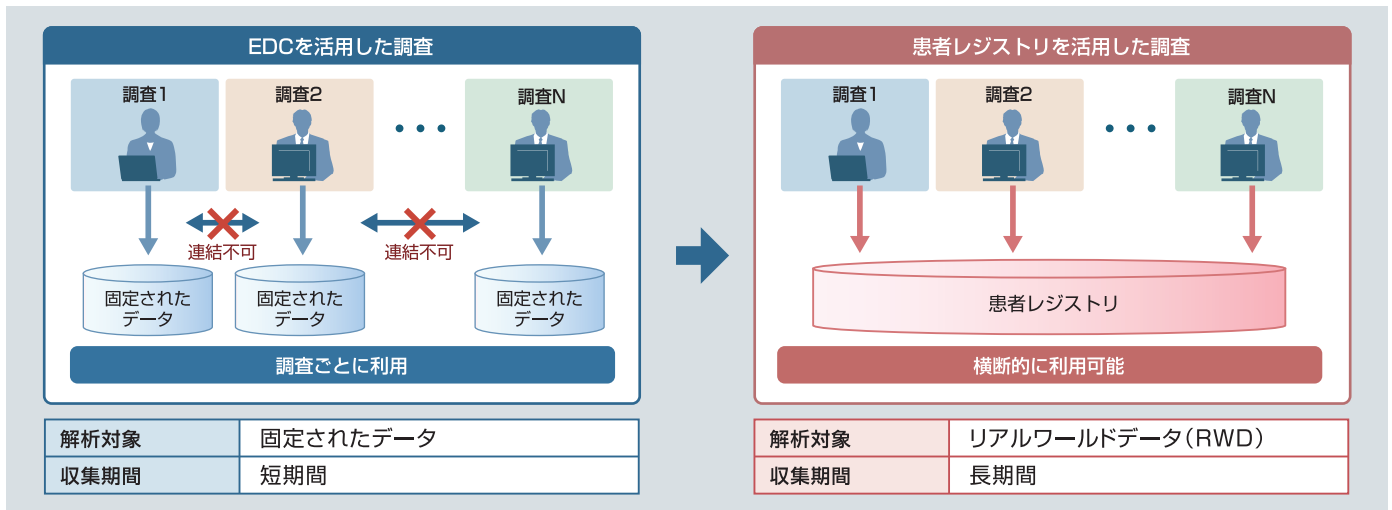
名寄せによる長期フォローアップの実現

医療機関ごとではなく、患者レジストリサービスで個人情報を一元管理することで、医療機関側の負担を軽減します。また、患者の転院にも対応することができ、患者の長期フォローアップを可能にします。



EDCと患者レジストリサービスの違い

患者レジストリサービスは、名寄せが可能のため、長期間のデータ収集に適しています。疾患や医薬品の種類を問わない横断的調査にも対応しており、EDCよりも柔軟にデータ収集が可能です。収集したデータは随時確認できます。



EDC : Electronic Data Capture

機能一覧

機能	内容
患者情報登録機能	医師やCRCの方が患者情報を登録できます。登録項目および閾値や簡易ロジックの設定が可能です。
個人情報管理機能	個人を特定する情報を秘匿化して安全に管理する機能を提供します。
鍵管理機能	アクセス者ごとに異なる鍵を管理することができます。鍵を発行して配布する機能も含まれます。
事務局機能	患者レジストリの運営で必要となる、基本的な業務サポート機能を有しています。
監査証跡機能	ER/ES指針に対応するためのログ管理機能を有しています。
患者向け機能(オプション)	医師やCRCだけでなく、患者からの登録も可能です。
一括入出力機能(一部オプション)	CSVファイルによる一括入出力ができます。

※ePRO や製販後調査システムとしての利用が可能です。 ePRO : electronic Patient-Reported Outcomes

- カタログに記載の内容・仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。また、製品写真は出荷時のものと異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

